

1 調査日 平成 25 年 2 月 8 日（金）

2 調査の概要

（1）三重県議会

三重県は、中部圏や近畿圏、あるいは、環伊勢湾や紀伊半島地域など様々な圏域で近隣府県と連携し、広域防災対策、伊勢湾の再生や環境対策、熊野古道の保全と活用など、共通の政策課題に対応すべく広域的に取り組み、県単独では解決が難しい課題への対応を進められている。

また、中部圏と近畿圏の両圏域の結節点として、両圏域とのネットワークを生かし両圏域をつなぐ広域連携を進められている。

三重県における広域連携について聴取するとともに、三重県議会の広域連携に関する考え方や広域行政の在り方について意見交換等を行うことにより、地方行政体制に関する諸問題について調査を行った。

委員からは、三重県は県益を考えた近畿や中部等との連携を上手にされている。本県は近畿、北陸、中部の三圏域と接しているが、関西広域連合に偏っている。また、その中で存在感を出せているわけではないなどの意見が出された。

